



【今年度の重点目標】
事象の変化がもたらす幼児への影響 ～五感で感じる変化に着目して～

重点Ⅰ 3か年を見通した保育の充実

- ・3、4、5 歳児がそれぞれの目標に向かって活動できるよう、援助や環境構成を工夫、行事の在り方など職員間で共有しながら保育を行う。また、保育の振り返り、改善を行っていく。
- ・研究の視点を持って保育を行い、研究3か年の成果をまとめる。

重点Ⅱ 小学校との連携

- ・アプローチカリキュラム、架け橋期のプログラムを作成し、小学校への滑らかな接続を図る。
- ・保幼小接続推進協議会の研修会に参加し、スムーズな接続につなげる。
- ・学期に一回、年長児が給食体験や交流を行い、小学校へのスムーズな接続を図る。
- ・校庭やプールを借用し、思い切り体を動かす場や自然と触れ合う場を構成する。

重点Ⅲ 子育て支援事業の充実

- ・0、1、2歳児の子供と保護者を対象に週1回程度、保育体験を行う。(プチらいおん他)
- ・未就園児の保育を行うと共に保護者の子育て相談も行う。
- ・保護者が安心して子供を遊べる事ができる保育環境を提供する。
- ・ホームページ等で幼稚園の子供の様子や子育て支援事業の情報提供をする。

